

2011 年度 常設展第1期

西洋版画の世界

◀◀◀◀◀◀駒井哲郎の視点▶▶▶▶▶▶▶▶

2011年4月6日(水)~6月12日(日)

春の企画展で取り上げている駒井哲郎(1920-1976)は、欧米の版画にも深い関心をよせました。そこで、このミニ企画では、駒井が折りにふれてエッセイなどで取り上げた作家を展示します。その結果、15世紀後半のマルティン・シヨンガウアーから20世紀のピカソ、ミロにいたるまで、幅広い時代のさまざまな作品が一堂にならぶことになりました。このことは、駒井が版画の長い歴史から多くを学んだという事実を物語っています。この展示によって、銅版画家として、また優れた教育者として、駒井哲郎が後進の人々に伝えようとしていたことはなんだったのか、感じとっていただけたらと思います。駒井の言葉とともに、じっくりご鑑賞ください。

※駒井はルドン、ブレスダンらにも影響を受けていますが、これらの作品は4月3日まで開催されていた『美しいリトグラフの世界』展に出品されていたため、本特集では展示されません。

※引用はすべて駒井哲郎著『銅版画のマチエール』(美術出版社、1976年初版刊行)によります。なおこの書籍はすでに絶版ですので、ご興味をお持ちの方は図書館や古書店で探してみてください。

※作品のサイズはすべてmm

マルティン・シヨンガウアー(1450頃-1491)

Martin Schongauer

十字架を担うキリスト

The Bearing of the Cross

1475-85年頃 銅版(エングレーヴィング) 163×116

…マルティン・シヨンガウアーは15世紀後半におけるすぐれた油彩画家でもあったのだが、そのあまりにもすくない油絵よりも115点に及ぶその銅版画によって不滅なのである…
——駒井哲郎『銅版画のマチエール』より

アルブレヒト・デューラー(1471-1528)

Albrecht Dürer

ネメシス(大運命神)

Nemesis ("Das große Glück")

1502年頃 銅版(エングレーヴィング) 337×271

『受難伝』*より *キリストの生涯の物語のこと
The Passion

円柱のかたわらの嘆きの人

Man of Sorrows by the Column

1509年 銅版(エングレーヴィング) 120×75

カヤパのまえのキリスト Christ before Caiaphas

1512年 銅版(エングレーヴィング) 116×73

キリストの荊冠 Christ Crowned with Thorns

1512年 銅版(エングレーヴィング) 114×77

キリストの哀悼 The Lamentation

1507年 銅版(エングレーヴィング) 116×72

キリストの埋葬 The Deposition

1512年 銅版(エングレーヴィング) 117×75

ピーテル・ブリューゲル(父)(1525/30-1569)

Pieter Bruegel the Elder

版刻:ヨーリス・フーフナーヘル(1542-1600)

Joris Houfnaegel

河岸の眺め

(メルクリウスによるプシュケ誘拐の場面が描かれた)

Riverlandscape with the Rape of Psyche by Mercury

1553年 銅版(エングレーヴィング) 278×345

ピーテル・ブリューゲル(父)(1525/30-1569)

Pieter Bruegel the Elder

版刻:ヨハネス・ファン・ドゥーテカム

(1559以降-1609以後まで活動)

Johannes van Doetecum

ルーカス・ファン・ドゥーテカム

(1559以降-1593頃まで活動)

Lucas van Doetecum

改悔するマグダラのマリア

Maria Magdalena in penitence

1555-56年 銅版(エングレーヴィング) 323×425

ジャック・カロ(1592-1635)

Jacques Callot

二人のパンタローネ

The Two Pantalons

1616年 銅版(エッチング) 92×142

『バツリ・ディ・スフェツサーニア(スフェツサーニアの踊り)』より
From “Balli di Sfessania (Danse of Sfessania)”
1621-22 年頃 銅版(エッチング)

・グアツェットとメストリーノ 74×94
Guatsetto and Mestolino

・プルチネツラとルクレチア 75×98
Pullciniello and Sig^a. Lucretia



…この作品は…前景に二人のイタリア人の喜劇役者がおり、中景にはさまざまな劇が繰り広げられ、人々が散歩でもするように通りすぎます。そしてその背後に遠くまた近く、可愛らしい小さな風景が展開します。まことにこの 24 枚の小版画はどれ一つとっても面白く、似ているようで、それぞれまったく違って、全体を通してみると魔術にかけられたような奇妙な気持ちになります。…

——駒井哲郎『銅版画のマチエール』より

『戦争の^{きんか}惨禍(大)』より
From “Grandes Misère de la guerre”
1633 年刊 銅版(エッチング).

・農家の^{りやくだつ}掠奪 83×187
Plundering of a Large Farmhouse

・馬車の襲撃 81×186
Attack on a Coach

・絞首刑 82×185
The Hanging

レンブラント・ファン・レイン(1606-1669)
Rembrandt van Rijn

…レンブラントの銅版画はなんといってもこの時代の最高峰です。…略… 腐蝕という新しい技巧を自由に駆使して、特徴ある明暗の世界を通じて内心のドラマを深く追求し表現した画家でした。また彼は、同時代のオランダの画家たちに非常に影響を与え、17 世紀オランダの黄金時代は築かれたのです。しかしその精神の高さにおいては彼に及ぶものはありませんでした。…

——駒井哲郎『銅版画のマチエール』より

アルミニウス派説教師ヤン・アイテンボハールト
Jan Uytenbogaert, Preacher of Remonstrants
1635 年 銅版(エッチング、エンブレイヴィング)
223×183

道端に三軒の^{きりつま}切妻屋根の家のある風景

Landscape with Three Gabled Cottages beside a Road
1650 年 銅版(エッチング、ドライポイント) 163×204

足のきかない男を癒すペテロとヨハネ
Peter and John Healing the Cripple of the Gate of the Temple
1659 年 銅版(エッチング、ドライポイント) 180×212.

フランシスコ・ゴヤ(1746-1828)
Francisco José de Goya y Lucientes

…ゴヤはこのアクワチントとエッチングを併用してみごとな作品を作っている。最初にエッチングの線だけで全体の構図をまとめ、さらにその上でアクワチントを加え…略…複雑な明暗を織りなして、がっしりした画面構成を作り出している。…

——駒井哲郎『銅版画のマチエール』より

『気まぐれ』より
From “Los Caprichos”
1799 年刊

・彼女は連れ去られた
They carried her off!
銅版(エッチング、アクアチント) 215×150

・感じやすかったがために
Because she was susceptible
銅版(アクアチント) 215×151

・理性の眠りは怪物を生む
The sleep of reason produces monsters
銅版(エッチング、アクアチント) 215×150

・チンチーリヤ鬼ども
The Chinchillas 205×150
銅版(エッチング、アクアチント、バーニッシャー、ビュラン)

シャルル・メリヨン(1821-1868)

Charles Meryon

ノートル=ダムの回廊

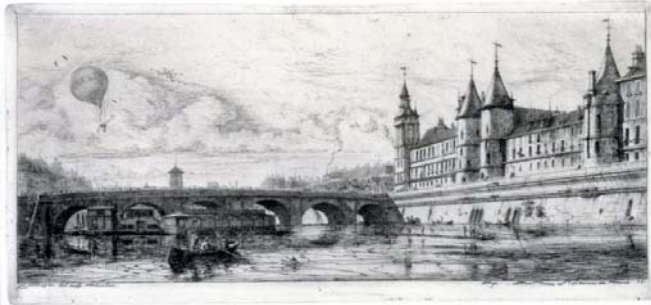
The Gallery of Notre-Dame, Paris

1853年 銅版(エッチング、エンブレイヴィング) 280×173

パリのポン・ト・シャンジュ

Pont au Change, Paris

1854年 銅版(エッチング、ドライポイント) 156×334



死体公示所

The Mortuary, Paris

1854年 銅版(エッチング、ドライポイント) 230×226

**ジェームス・アボット・マクニール・ホイッスラー
(1834-1903)**

James Abbott McNeil Whistler

はしけだまり

The Pool

1859年 銅版(エッチング) 133×211

石灰製造業者

The Lime-Burner

1859年 銅版(エッチング) 250×177

エドヴァルド・ムンク(1863-1944)

Edvard Munch

病める子

Sick Girl

1894年 銅版(ドライポイント、ルーレット、バーニッシャー)
388×292

パウル・クレー(1879-1940)

Paul Klee

樹中の処女

Virgin in the Tree

1903年 銅版(エッチング) 233×292

馬鹿騒ぎ

Buffoonery

1922年 リトグラフ 195×156

マックス・エルンスト(1891-1976)

Max Ernst

無題 No Title

1949年 銅版(エッチング、アクアチント) 116×84

無題 No Title

1950(1973)年 銅版(エッチング、アクアチント) 198×140

無題 No Title

1970年 銅版(エッチング、アクアチント) 317×167

無題 No Title

1972年 銅版(エッチング、アクアチント) 248×160

くちばし
『嘴のカップル』より

From "A pair of bills" ("Das Schnabelpaar")

1953年 銅版(エッチング、アクアチント)

・II 237×178

・V 236×177

・VI 239×179

・VII 235×178

パブロ・ピカソ(1881-1973)

Pablo Picasso

貧しき人々

The Poor

1905年(1913年の刷り) 銅版(エッチング) 236×180

ダンス

The Dance

1905年(1913年の刷り) 銅版(ドライポイント) 185×232

救助 II

The Rescue II

1932年(1961年の刷り) 銅版(エッチング) 160×200

ジョアン・ミロ(1893-1983)

Joan Miró

マキモノ

MAKIMONO

1956年 絹の布に型染め(多色) 393×8740

畦地梅太郎(1902-99)コーナー

Umetaro Azechi

あぜちうめたろう えひめけん
畦地梅太郎は愛媛県出身の木版画家で、「山の版画家」として知られます。最初は山の風景を描いていましたが、やがて、自分が山で感じたことを山男のすがたをかりて表現するようになりました。温かみのある作品で多くの人に愛されています。晩年を町田市鶴川ですごし、この美術館の建設にも大いに貢献しました。(展示作品はすべて木版、多色刷り)

どうご
◎道後の湯 Dogo hot springs
1945年 300×420

だいぼさつれい みょうけん
◎大菩薩嶺(妙見の頭)
Mt. Daibosatsurei (Myoken-no-kashira)
1940年 301×446

◎山のよろこび Pleasure of Mountain
1957年 614×426

◎山におどる Dancing on Mountains
1958年 687×450

うきよえたまてばこ 浮世絵玉手箱

うきよえ ひかり いろ うす
浮世絵は光にあたると色が薄くなってしまうので、
てんじつ うきよえ はこ なか くら
この展示室では、浮世絵を箱の中にいれ黒いカーテン
ひかり なが じかん ひかり
で光をささぎっています。長い時間、光にあたらな
くふう あ みおわ
ための工夫です。カーテンを開けてごらんください。見終
たら閉めてください。

かつしかほくさい
葛飾北斎(1760-1849) Hokusai Katsushika
ひやくにんいっしゅうば え
『百人一首 姥がゑとき』より
One Hundred Poems Explained by a Nurse
1835年(天保6)頃 木版、多色刷り

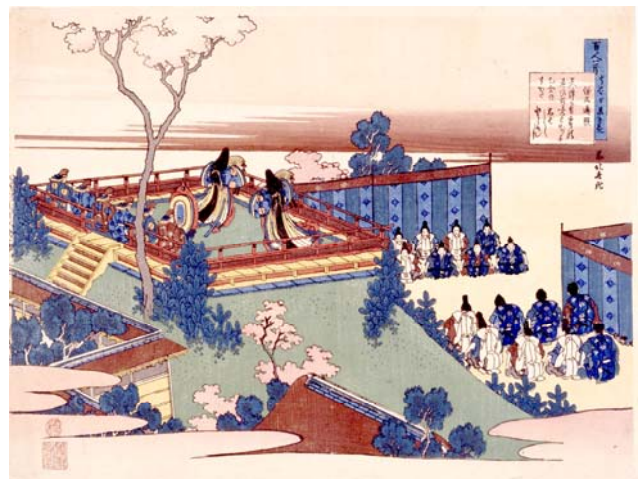
ひやくにんいっしゅうば え かつしかほくさい
『百人一首 姥がゑとき』は葛飾北斎が晩年に
さしかかった76歳頃に制作されたもので、北斎にとって最
後の浮世絵版画のシリーズとなりました。「百人一首を
うば
乳母がわかりやすく絵解きする」という趣向で着手され、版
画のもとになる絵は仕上がっていましたが、完成にいたっ
たのは27首のみでした。和歌を絵にするという北斎のちょ
っと変わった百人一首の世界をお楽しみください。カラフル
な色使いと、摺りの美しさにもご注目ください。

じとうてんのう
① 持統天皇 Empress Jito 262×385
「春すぎて夏来にけらし しろたえの
ころも あま かぐやま
衣ほすてふ天の香具山」

持統天皇が初夏のすがすがしい情景を詠った歌意を、江戸時代の風俗であらわした作品です。中央の女性たちが川で洗った白布を竿に吊るして運んでいます。遠景の村では、干された無数の白布が、夏の日差しを受けて輝いています。

そうじょうへんじょう
② 僧正遍照 Sojo Herjo 260×379
あま かぜくも じふ
「天つ風雲のかよひ路吹きとぢよ
すがた
をとめの姿 しばしとどめむ」

満開の桜の中、小高い舞台の上で檜扇を手にしたふたりの乙女が優雅に舞っています。この絵は、にいなめさい
新嘗祭と呼ばれる宮中の行事の際におこなわれる「
ごせち まい
五節の舞」をたたえる和歌を描いたものです。新嘗祭
というのは収穫に感謝するお祭りですから、秋、むか
しの暦でいうと11月の行事なのですが、北斎はなぜ
か春の情景として描きました。未婚の貴族女性が舞う
優雅で美しい「五節の舞」には、桜の季節のイメージ
がぴったりだと、北斎は考えたのでしょうか。



町田市立国際版画美術館の独立HPが誕生!

<http://hanga-museum.jp/>

展示会や講座をはじめ、さまざまなイベントの情報
がご覧になれます。スタッフが“旬な話題”をお届けする「芹ヶ谷だより」のコーナーや、収蔵品がお
楽しみいただけるコーナーもございます。

ぜひ、アクセスしてみてくださいませ～!

町田市立国際版画美術館 2011年4月6日発行

